【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2001-53201(P2001-53201A)
【公開日】平成13年2月23日(2001.2.23)
【出願番号】特願平11-229616
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０１Ｌ　23/36
　Ｈ０１Ｌ　23/40
　Ｈ０５Ｋ　 7/20
【ＦＩ】
　Ｈ０１Ｌ　23/36　　Ｚ
　Ｈ０１Ｌ　23/40　　Ｃ
　Ｈ０５Ｋ　 7/20　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月10日(2004.12.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　発熱体を取り付けるベースプレートと、該ベースプレートに立設しベースプレートの熱を放熱するフィンとからなるヒートシンクにおいて、前記ベースプレートに立設のフィンの先端は隣接するいずれかのフィンと少なくともその一か所で連結していることを特徴とするヒートシンク。
【請求項２】
　発熱体を取り付けるベースプレートと、該ベースプレートの熱を放熱するフィンと、該フィンに風を送るファンとからなるヒートシンクにおいて、フィンの先端は隣接するいずれかのフィンと少なくともその一か所で連結され、該フィン相互を連結する連結部はフィン先端よりも高く構成され、前記ファンは前記連結部で動きが規制されるように装着されていることを特徴とするヒートシンク。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
　また、本願の第２の発明は、発熱体を取り付けるベースプレートと、該ベースプレートの熱を放熱するフィンと、該フィンに風を送るファンとからなるヒートシンクにおいて、フィンの先端は隣接するいずれかのフィンと少なくともその一か所で連結され、該フィン相互を連結する連結部はフィン先端よりも高く構成され、前記ファンは前記連結部で動きが規制されるように装着されていることを特徴とするヒートシンクである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００９】
上記実施形態に示す本発明のフィン２は、図１（イ）に示すようにベースプレート１に立設され、その先端は隣接するいずれかのフィンと少なくともその一か所で連結されている。図中９はその連結部で、図示した実施形態では連結部９は左右に一か所づつ設けられている。このように、フィン２の先端を隣接するフィン２と少なくともその一か所で連結することによりフィンを薄くしてもフィン相互の間隔が不規則になることがなく、強度も向上し、フィンとしての放熱性能も向上する。即ち、連結部９はフィン相互の間隔が不規則になるのを防止し、かつ、強度を落とさない程度の幅とすることで空気の流れを阻害することなく、連結部９を設けることで放熱効率が低下するようなこともない。